



2021年3月10日14:00~15:30 園內研修@田柄幼稚園遊戲室

令和2年(2020)年度 自己評価総括

学校法人 練馬みどり学園 田柄幼稚園 園長 古閑 博美

h.koga@nmg.ed.jp











内容

- 1. 実施事項
- ①「自己評価アンケート」配布
- ②「自己評価アンケート」回収締切
- ③「自己評価アンケート」配布先
- ④ 「自己評価アンケート」回収率
- 2. 「自己評価アンケート」総括

2021年1月13日

2021年2月12日

本園正規職員24名

100%

2021年3月10日@遊戯室



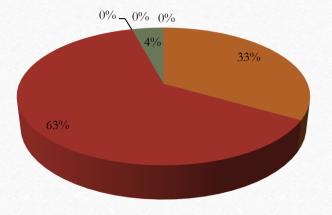


◎ [1. 園長の年間方針について]



- 1. 本園利用者の期待に応える教育活動の一環として「全身教育」を提唱とその定着を図る。
 - ※全身教育とは、「全身にさまざまな刺激を与えることで心身の善的発達に 寄与する教育」(回答23/24)

■5よくできた ■4概ねできた ■3普通 ■2あまりできなかった ■1できなかった ■回答無し











令和2年(2020年)度年間方針

- 1. 本園利用者の期待に応える教育活動を行う。
- ①教育の質を高める。
- ②全身教育を通じ、「いのち・こころ・からだ」の大切さを伝える指導を、教育的配慮の下、 実践する。
- ③保護者対応は迅速かつ丁寧に行う。
- 2. 教育取組改革を推進し、教職員の研究意識向上、キャリアアップとスキルアップを図る。
- 3. 園内業務の見直しの一環として、コスト意識の向上と仕事の効率化を図る。
- 4. 人間関係間調整能力および業務遂行能力の向上の一環として、組織人としての意識向上および事務的業務の質の向上を図る。



以上

03/10/2021自己評価結果 古閑 博美



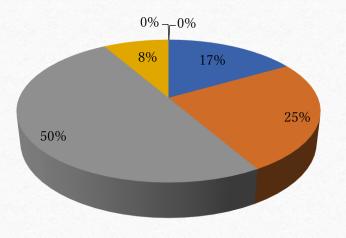




[1. 園長の年間方針について]

2. 教職員の意識改革に一環として、教職員のキャリアアップとスキルアップを図る。 (回答24/24)

■ 5 よくできた ■ 4 概ねできた ■ 3 普通 ■ 2 あまりできなかった ■ 1 できなかった ■ 回答無し





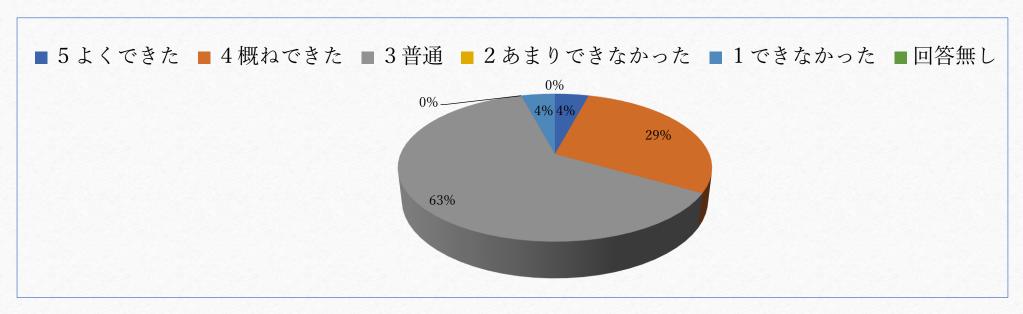






[1. 園長の年間方針について]

3. 園内業務の見直しの一環としてコスト意識の 向上と仕事の効率化を図る。 (回答24/24)



(1をつけた理由)

1) コロナ出費 消毒に関する経費や作業による人件費増



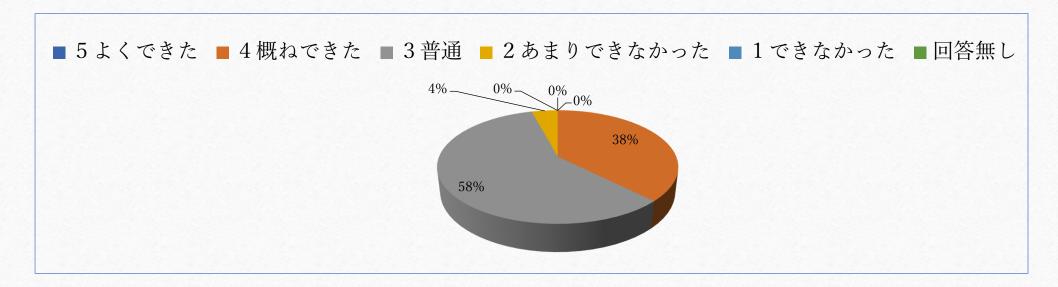






[1. 園長の年間方針について]

4. 園内業務の一環として、組織人としての意識向上ならびに事務業務の質の向上を図る。(回答24/24)



(2をつけた理由)

1) コロナへの取り組みや見通しの甘さ





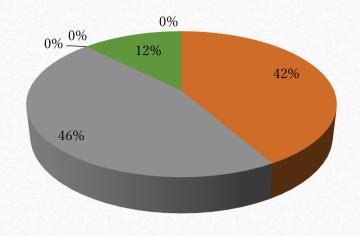




1. 教育目標について(回答21/24)

(1) ただしい子 (知性の育成)

■ 5 よくできた ■ 4 概ねできた ■ 3 普通 ■ 2 あまりできなかった ■ 1 できなかった ■ 回答無し





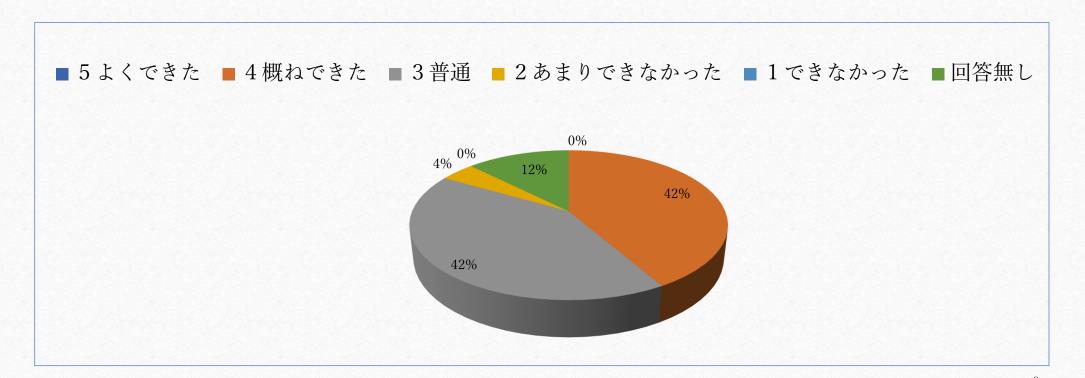






1. 教育目標について(回答21/24)

(2) うつくしい子(情操の陶冶)





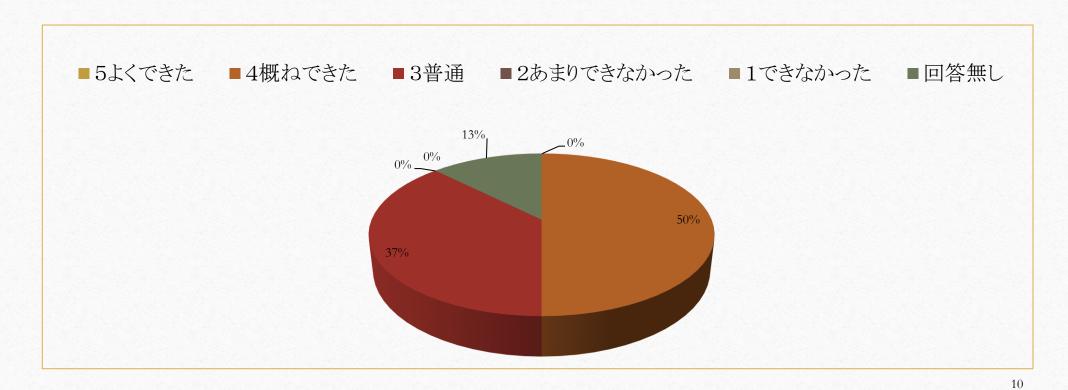






1. 教育目標について(回答21/24)

(3) つよい子 (意志の形成)





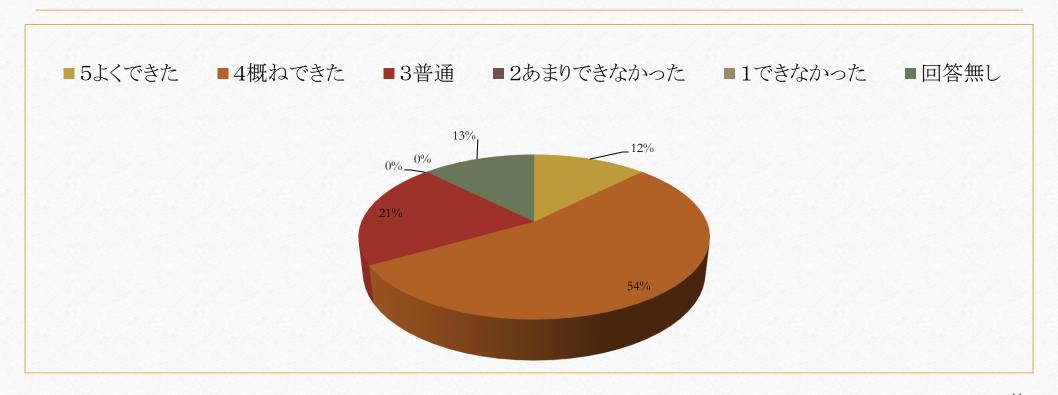






1. 教育目標について (回答21/24)

(4) あかるい子(心身の健康)





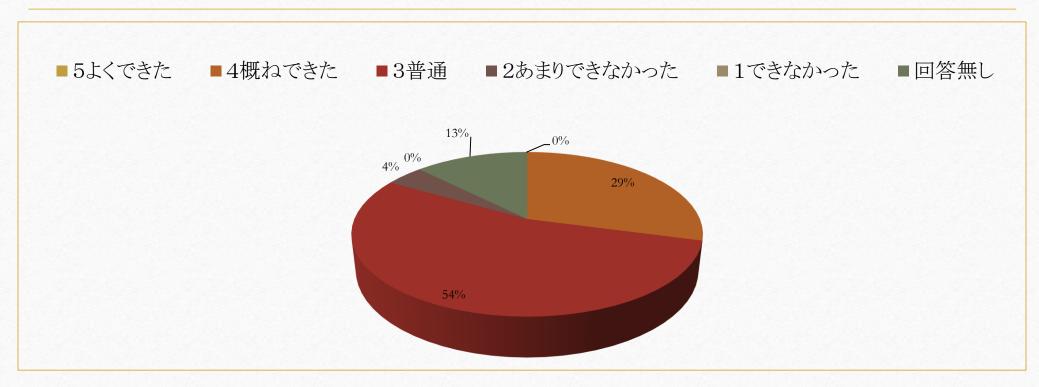






2. はぐくみたい資質・能力(回答21/24)

(1)知識及び技能の基礎



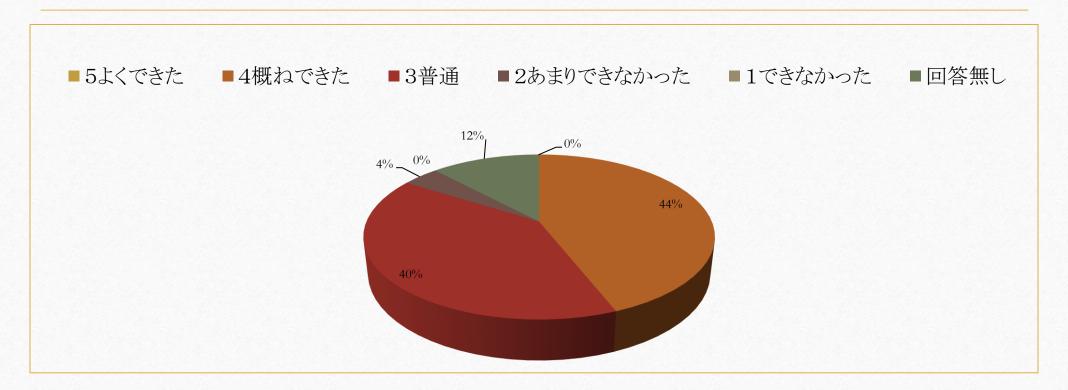








- 2. はぐくみたい資質・能力 (回答21/24)
 - (2) 思考力、判断力、表現力等の基礎



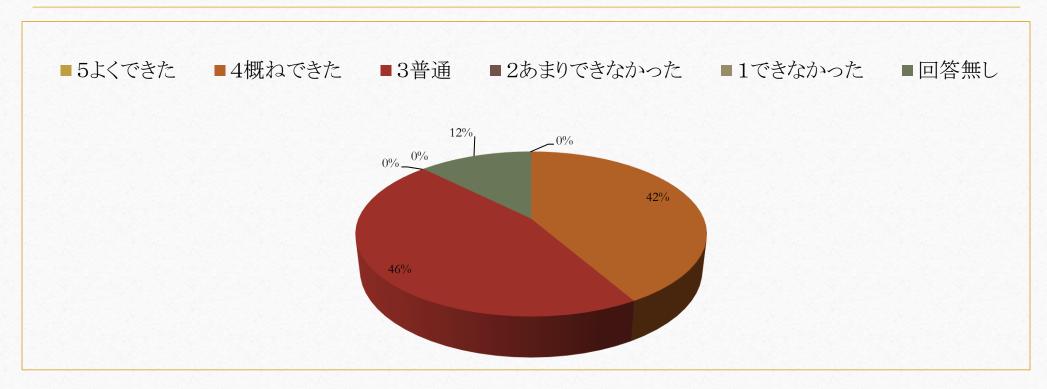








2. はぐくみたい資質・能力(回答21/24) (3)学びに向かう力、人間性等





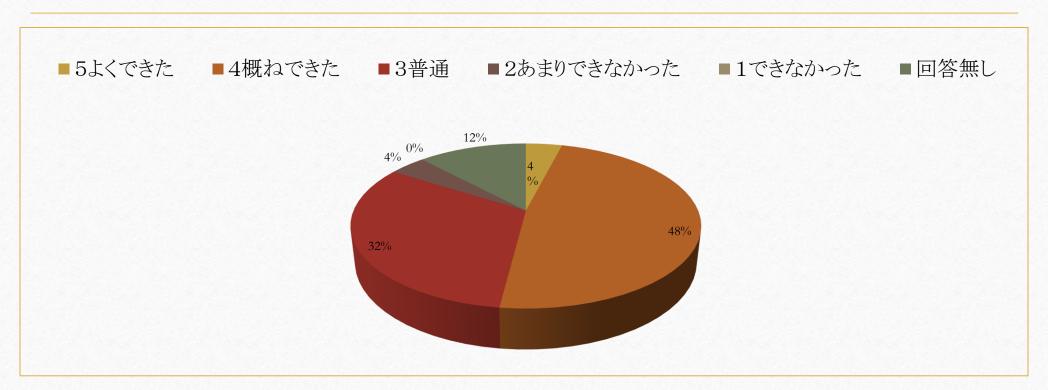






3. 幼児期の終わりまでにそだってほしい姿(回答23/24)

(1)健康な心と体





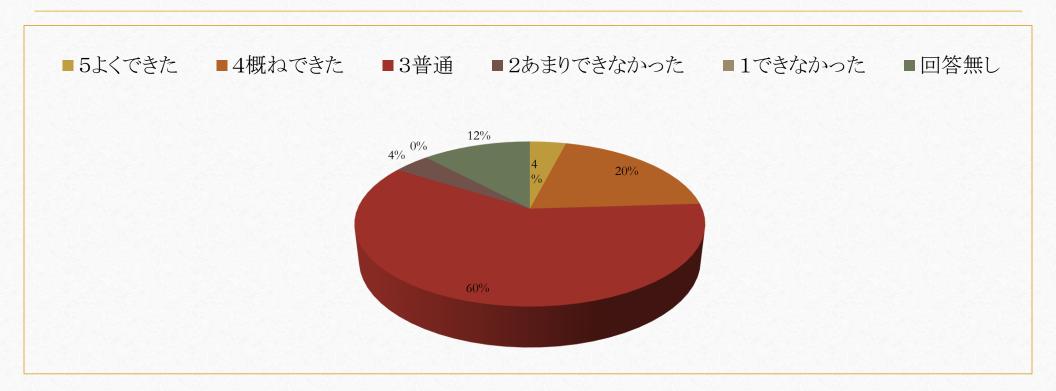






3. 幼児期の終わりまでにそだってほしい姿(回答23/24)

(2) 自立心





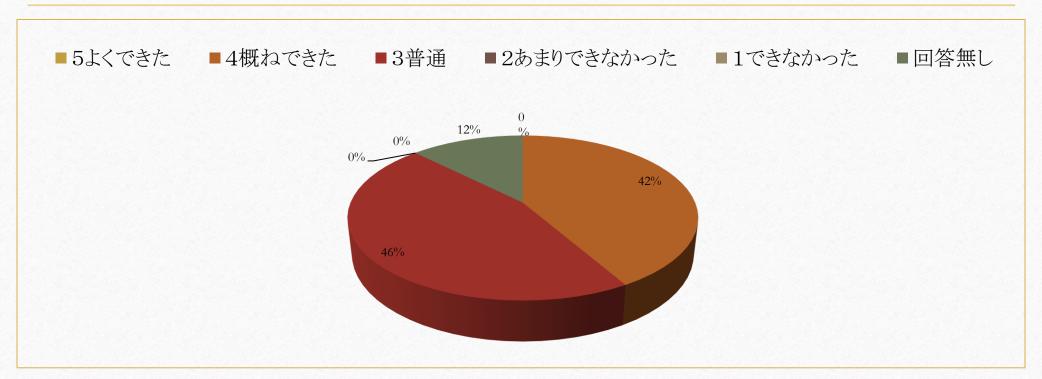






3. 幼児期の終わりまでにそだってほしい姿(回答23/24)

(3)協同性





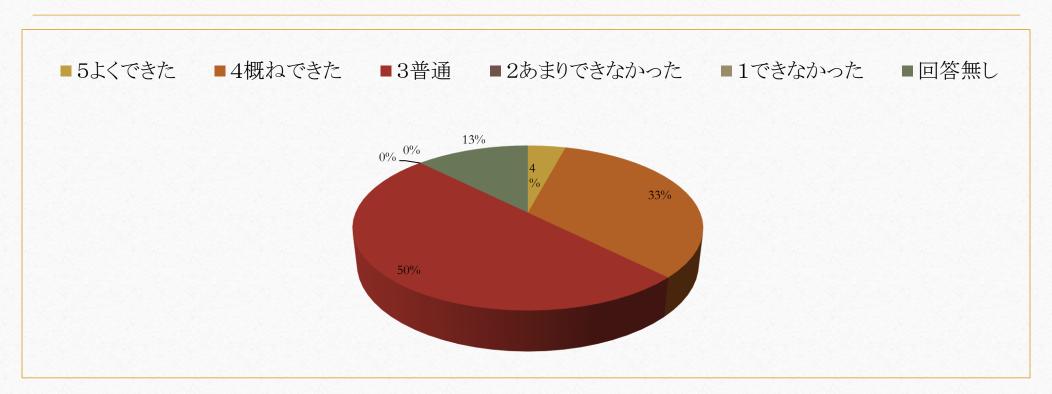






3. 幼児期の終わりまでにそだってほしい姿(回答21/24)

(4) 道徳性・規範意識の芽生え





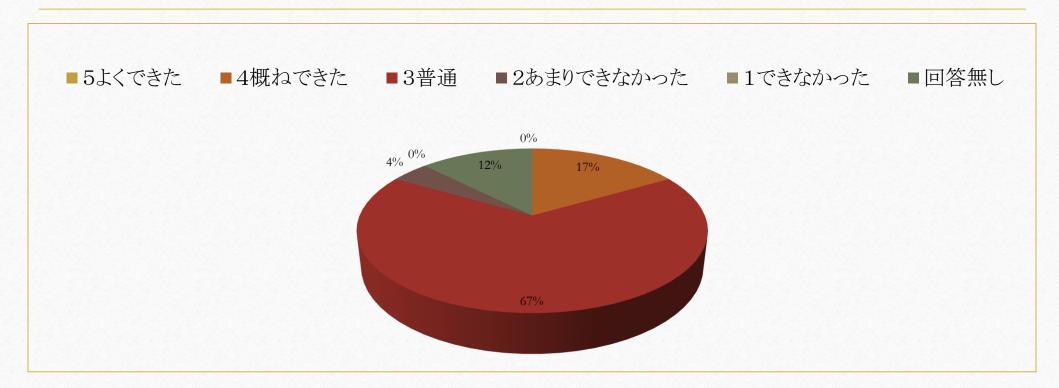






3. 幼児期の終わりまでにそだってほしい姿(回答21/24)

(5) 社会生活とのかかわり





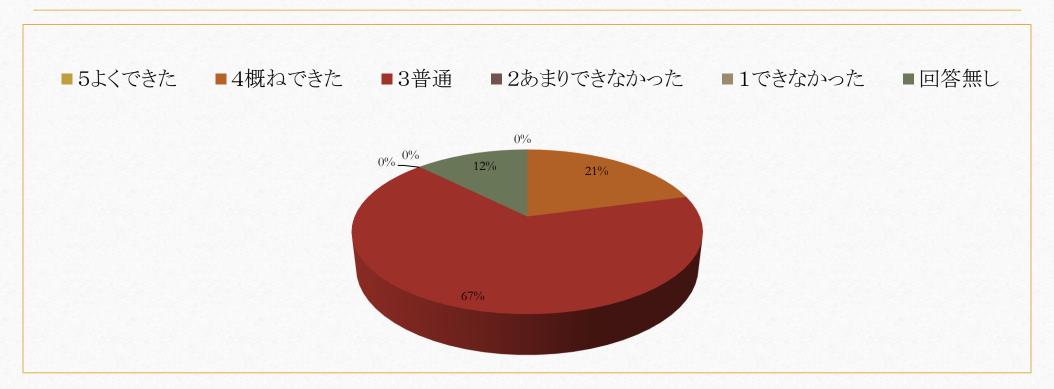






3. 幼児期の終わりまでにそだってほしい姿(回答21/24)

(6) 思考力の芽生え





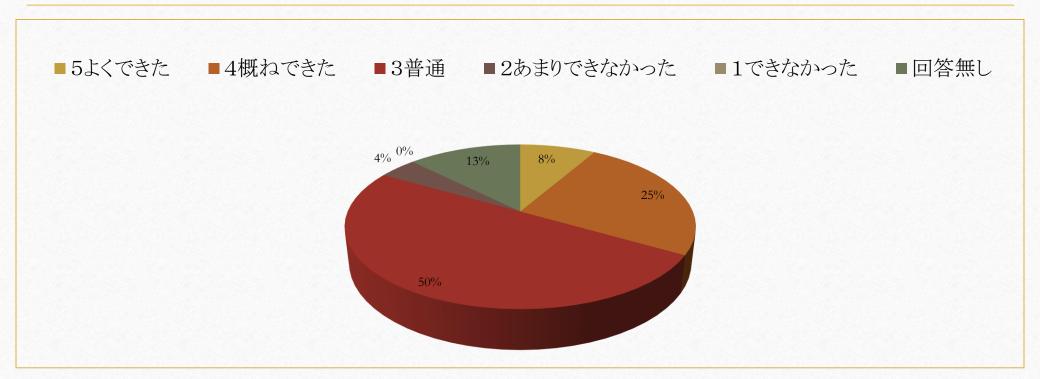






3. 幼児期の終わりまでにそだってほしい姿(回答21/24)

(7) 自然とのかかわり・生命尊重



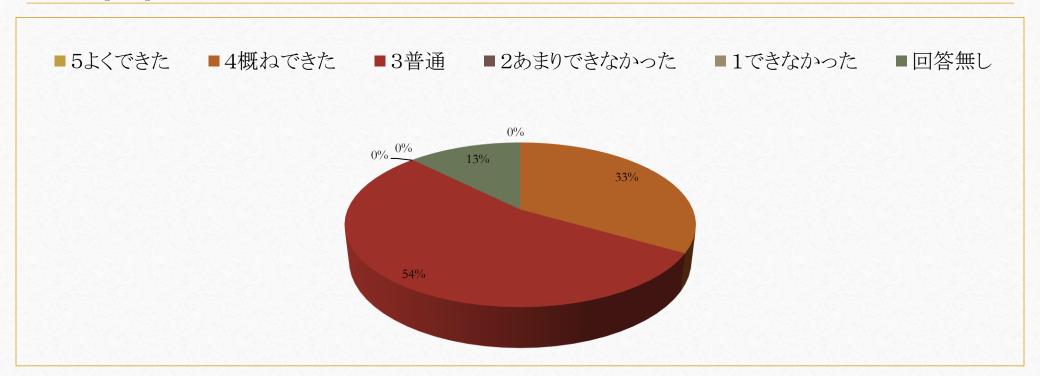








- 3. 幼児期の終わりまでにそだってほしい姿(回答21/24)
 - (8)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚





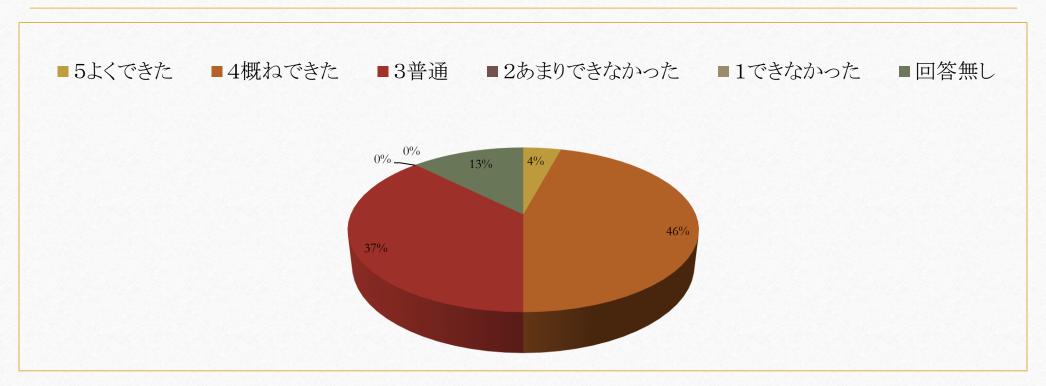






3. 幼児期の終わりまでにそだってほしい姿(回答21/24)

(9) 言葉による伝え合い





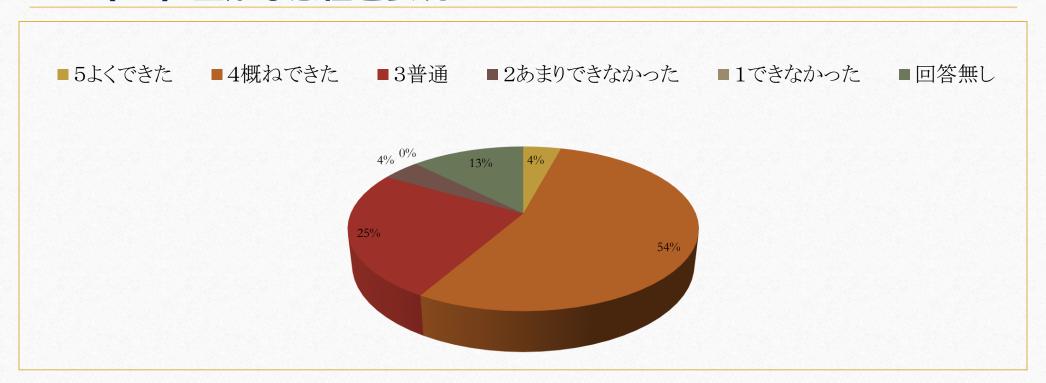






3. 幼児期の終わりまでにそだってほしい姿(回答21/24)

(10)豊かな感性と表現











- (1)年度初めに教育目標を立てて取り組んだ方は、それについて述べてください。(回答23/24)
 - 1) コロナ感染防止対策:換気、消毒、衛生面での配慮
 - 2)休園→開園:こどもたちの意見に寄り添い尊重する。元気で明るく登園
 - 3) 5歳児学年:小学校進学へ向けての基本的生活習慣の自立化。園児たち同士の関わりを深める。 進学に向けて、時間や1日の流れを意識し、見通しを持って過ごせるようにした。
 - 4) 4歳児学年:幼児理解に努めることを第一に職務に当たる。
 - 5) 3歳児学年:年間目標「喜んで登園し、友だちと遊んだり、活動したりすることを楽しむ」 クラス目標「子どもたちが楽しく幼稚園に登園できるようにする」「やってみたい!」 という気持ちを大切にし友だちや教師と遊ぶ楽しさを感じてもらうように関わってきた。
 - 6) 学級経営補助:他の教諭に学ぶ。









(1)年度初めに教育目標を立てて取り組んだ方は、それについて述べてください。(回答23/24)

7)年間目標:友だちの気持ちに共感し、相手を受け入れようとする。

クラス目標:①進んで挨拶をする。②進んで体を動かす。③友だちのことを思ったり考えたりして行動する。

個人目標: ①園内で笑顔で過ごす。②子どもと同じ目線で遊んだり、学んだりする。

- 8) 5Sを意識した指導。職場内のマニュアルの共通理解や意識の継続が難しい。定期的な確認が必要。
- 9) 通園バス:清掃と安全運転。
- 10)事務:事務作業の可視化および効率化。キャッシュレス決済、連絡アプリに使いこなせていない機能有。 来年度オンライン決済開始にあたり、使いこなせていない機能を使い、作業効率を上げる。
- 11) パソコン:操作に慣れる。
- 12) 学年増設に向け、研修や調査、資料収集を行い、新たな分野に目を向けることができた。









- (2) 目標は達成できましたか。できた・できなかった理由を述べてください。 (回答22/24)
- 1) 感染対策に努めた。時間、自分に余裕がないときにできていなかった。
- 2) できた。理由→密になることもあったがリスクを考え出来る限り実行した。
- 3) できた。理由→個人差は生じるが日頃からのことばがけにより今では予定や時間、時計を意識して生活 出来るようになってきているところである。
- 4) 遊びや活動の中で、さまざまな友だちと関わる機会を作ったり、教師の支持だけでなく、自分たちで活動を進める機会を作ったりしたことで、日常生活でも園児同士のやり取りが増えてきた。友だちと話して遊びを進められるようとしたり、困ったことを自分たちで解決しようとしたりする様子を見られてきている。また、その日の予定や時間を自ら確認し、意識する姿も見られるようになってきた。









- (2) 目標は達成できましたか。できた・できなかった理由を述べてください。 (回答22/24)
- 5)年間目標:8割できたと感じる。友だち同士で役割を決めたり、お互いの意見が合わなかった場合に 話し合って折り合いをつけたりできるようになった。自分の意見を通したい気持ちが強い園児もいた。
 - クラス目標①:できた。朝や帰り、昼食などの基本的な挨拶を毎日必ず行い、意識して過ごせるようにしてきた。 また、朝、教室に入室する際も進んで挨拶を行えた。
 - クラス目標②:できた。天候に左右されずに活発に体を動かして遊んでいた。今年度は怪我の研修のこともあり、 意識して「体を動かす活動」を行なえた。
 - クラス目標③: 7割できたと感じる。相手のことを考えたソーシャルディスタンスや、近くの友だちのことを考えて昼食中に話さない、などコロナ禍を踏まえた思いやなど育まれたと感じる。また、困ったり泣いたりしている友だちに声をかけたり、「入れて」「いいよ」が出来たり、相手を意識して行動することが出来るようになった。









- (3) 職務においてもっとも力を入れたのはなんですか。 (回答24/24)
- 1) COVID-19: 出来る限りのソーシャルディスタンス、換気、消毒、衛生面の配慮と徹底。それに伴い、 保護者が安心して子どもを預けられるような環境作りと保護者対応。
- 2) 立場:報告、連絡、相談を行う。複数の予定を管理するうえで、もれのないようにする。 自分のクラスだけでなく、全体に目を向けること。COVID19の感染防止対策。
- 3) 学年主任: 園長先生や他学年の学年主任や教務担当の先生と連携が取れるように意識したり、学年内で話し合いや決め事をまとめたりすることを意識した。
- 5) PC:フォルダ内の整理、職員室の机上や教室など仕事場の整理整頓、こまめに清掃をして清潔を保ち、 職務の効率化を図ること。









(3) 職務においてもっとも力を入れたのはなんですか。

(回答24/24)

6)安全: 園児同士のトラブルで園児が怪我をしないように声掛けをしたり、見守ったりすること。

7)教育:愛着関係を築くことの重要性を意識しながら、園児たちと関わる。必要な生活習慣や態度を身に付けるために、まず「園児たちが『先生大好き』と言ってくれる関係」をつくり、安心して自分の気持ちを出せるような環境づくりを行った。登園を渋り泣いてしまう、園生活の見通しがつかず不安になる、集団での活動に集中できないなど、さまざまな園児がいたが、その園児たちの思いをそのまま受け入れ、温かく見守った。また、日々の活動、自由遊びから片付け、帰りの身支度など、園児にとって楽しい、自分でやってみようと感じられるように、声掛けや遊びを取り入れながら進んで活動に取り組める工夫をした。また、園児たちが毎日意欲的に活動できるように、頑張っている姿を認めたり共感したりして関わり、信頼関係を深めることを心がけた。









(4) 職務上、園内で共有したいことがらは何ですか。

(回答24/24)

- 1)情報の園内共有→保護者
- 2) 行事などの係りの詳しい仕事内容。
- 3) 園庭の利用方法:各学年で連携を図り、時間を分けて使用していた。そのためか、園児同士の 衝突や大きな怪我などの報告が例年に比べ少なかったように感じる。安全に配慮するためにも 来年度以降も引き続きそのような形をとるのはどうか。
- 4) 学年間で配慮が必要な園児の共通理解を深める。
- 5) 園児の姿をより深く共有したく思っております。前提として 園児の姿は担任が責任をもって把握、理解するべきかと思いますが、園児の姿について園全 体で共有することで多くの目で広い視野で見守ることができるのではないかと思います。









- (4) 職務上、園内で共有したいことがらは何ですか。 (回答24/24)
- 6)制作物の名前の書き方など決まっているのか、どこでも大丈夫なのか、他の年少とも共有 したほうがよかった。
- 7)アルリット内のメッセンジャー、メール、掲示板のどこになにを送るのかを明確にしたい。
 例:実施計画は掲示板にのせ、メッセンジャーでお知らせ。
 - 例:園内でのことは37名、園児のことは27名のメッセンジャー等。
- 8) パソコン作業が苦手なので余計に感じたことは、報告書やメールの打ち方など最初は 全く分からなかったことが不安材料の一つでした。ですので、マニュアルや送り方の常識が わかるものが共有できたら良いと感じた。









(5) 職務上、研究や研修の成果があがったことがらはなんですか。

(回答23/24)

- 1) けがや予防をする遊び。気になる子への対応。
- 2) リトミック等の研修は日頃の保育に実践的に取り入れることができた。
- 3)体操の研修で行った「じゃんけん遊び」を教室で行った。狭い空間でも行うことができ、 雨天の日でも教室で楽しみながら体を動かすことができた。また、ペアの友だちを変えて 行うことでさまざまな友だちと関わる機会にもなった。園児の運動方針を改めて見直し、運動遊びを 練ることができた。
- 4) 今年度は、怪我防止をテーマに掲げ研究に取り組んだ。椅子の持ち方は園児にも定着した。 教室内での怪我やトラブルはあまり見られなかった。
- 6) 気になる子の研究では気になる子に対しての対応や保護者への対応が実践できた。









(5) 職務上、研究や研修の成果があがったことがらはなんですか。 (回答23/24)

- 7) 佐藤弘道氏による研修会にて、日々の生活や遊びのなかで体を動かすこと、可動域を広げていくことの大切さを学び、それをクラスの活動に取り入れることで運動能力や運動あそびを楽しむ園児が増えたこと。
- 8) ケガについてのテーマをきっかけで、巧技台を使った遊びや、体操をしたりすることで体を動かす機会を沢山設けることができて良かった。
- 9) おかたづけのピアノを低音で弾いて慌てて片づけないようにと研修で習ったピアノをすぐに 取り入れられた。
- 10) 研究の内容より、職員全員で課題に向かって取り組むことの大切さに成果があったと思う。
- 11) 研究・研修委員になりケガについて、より考えることができ、ケガを事前に防ぐことができたと思う。
 34









- (6) 幼児教育の指導でもっとも力を入れたことは何ですか。3点挙げて ください。(回答22/24)
 - 1) ①子どもたちにも出来る限りのソーシャルディスタンス、飛沫に注意すること、手洗い うがいを入念に行うこと等、生活するなかで大切なことを伝え自身で意識づけられる ようにすること。
 - ②周りにいる仲間や友だちの気持ちを考えて行動し、一人ひとりが毎日の園生活が楽しいと 感じられる環境作り。
 - ③小学校進学へ向けての基本的生活習慣の見直し。
 - 2) ①園児たち同士で活動を進める機会を多く持つ。
 - ②自分のことは自分で行い、見通しを持って行動する。
 - ③挨拶。









- (6) 幼児教育の指導でもっとも力を入れたことは何ですか。3点挙げて ください。(回答22/24)
 - 3) ①遊びによる学び ②身だしなみ ③物を大切にすること
 - 4) ①遊びのバリエーションを増やす。
 - ②【倉橋惣三氏】の考える教育について、より理解を深める。
 - ③自分自身の知識を増やす。
 - 5) ①所持品の管理や衣服の着脱など身の回りのことは自分で行う力をつけること。
 - ②行事などの活動を通して、集団生活のなかで友だちやとのやり取りやクラスのみんなで 活動することの楽しさを感じられるようにする。
 - ③初めてのことでもやってみようという気持ちをもって活動に取り組む力。
 - 6) ①園児との信頼関係を築くこと、個人理解。 ②相手をおもいやること。 ③けじめ









- (7) 保護者との対応でもっとも配慮したことは何ですか。3点挙げて ください。(回答24/24)
 - 1) ①笑顔での挨拶。 ②嫌味のないような言葉遣い。 ③ソーシャルディスタンス。
 - 2) ①正確さ ②迅速さ ③共感力
 - 3) ①保護者対応(マスクで表情が見えないので「聞いています。」という気持ちが 伝わるように対応した) ②欠席連絡の対応
 - ③園児と過ごすなかで、保護者に伝えたいこと(良い点)を話すことができた。
 - 4) ①正確に ②迅速な ③笑顔で丁寧に
 - 5) ①笑顔など気持ちのよい対応。
 - ②不安なことはその場で答えず、相談してから返答する。
 - ③相手の気持ちに寄り添い、教育者としての立場や保護者側の立場になり対応する。









- (7) 保護者との対応でもっとも配慮したことは何ですか。3点挙げて ください。(回答24/24)
 - 6) ①体調や様子を伝える。 ②その日の遊びの話をする。
 - ③様子などを話しながら保護者とコミュニケーションをとる。
 - 7) ①言葉遣い ②笑顔 ③子供の様子を伝えること
 - 8) ①会話をする際は、笑顔で目を見て話す。
 - ②こどものことで相談された際は、保護者が心配にならないよう、ネガティブな表現は しないようにし、こどもの良いところをたくさん伝えた。
 - ③話の内容により、場を考え保護者が話しやすい環境を作るよう心掛けた。
 - 9) ①笑顔で対応する。 ②お待たせしない。 ③自分から、発信する。
 - 10) ①コロナ対策と情報提供 ②挨拶 ③健康管理









(8) 同僚との間でもっとも配慮したことは何ですか。(回答24/24)

- 1) ①園児の様子をよく聞き、話し合った。
 - ②落ち込んでいたら励ましたり、声掛けを増やしたりした。
 - ③準備など一人でやることが無いように、6人そろったらやるようにした。
- 2) ①言葉遣い。 ②同僚から学ぶ気持ち。 ③仕事の割り振り。
- 3) ①挨拶、ありがとうございますを言う。
 - ②いつ自分の子供の事情で欠席、早退、遅刻をするかわからないので、出勤できている間は 自分から動き、できることは率先して行う。
- 4) ①報告 ②あいさつ(感謝) ③相談









- (8) 同僚との間でもっとも配慮したことは何ですか。(回答24/24)
- 5) ①相手に何かしてもらった時や気持ちを伝えたいときには、些細なことや当たり前のことでも感謝や気持ちを伝えるようにした。
 - ②相手の考えを尊重し、共感的に話を聞くことを心がけた。
 - ③コミュニケーションを心がけ、教育の悩みをお互いに相談し合い向上に努めた。
- 6) ①事前に確認をすること。 ②他クラスの園児の様子を話すこと。
 - ③誰かが学年のことをしていたら声を掛けみんなで助け合うようにした。
- 7) ①自分から話しかけ、コミュニケーションをとっていくよう心掛けた。
 - ②何事も困っているときに助け合えるようにしてきた。
 - ③一人で行うのではなく、一緒に共感したり、乗り越えていけるように心掛けた。









[3] 教職員としての取り組み(自由。複数回答可) (9) その他(忌憚のないご意見をご記入ください。) (回答19/24)

- 1) 園児をあだ名や呼び捨てで読んでいることが気になる。保護者にも聞こえているのではと思う。
- 2) もし可能であれば、仕事量の采配の見直しを希望します。
- 3) 業務改善できるところはしていき、スマートなやり方を取り入れたいです。 きらきら教室の手書きの日誌→現在は全て手書きです。それを後からスキャンしPCに保存 していると思います。バスキャッチの利用名簿からコピペをして、予め用意していた フォーマットに貼りければ後は担当がPCをきらきらの部屋にもっていき、入退室管理を 行えば、時間の管理もでき、何時に帰園したかわかります。手書きは時間がかかりますし、 人数の多い日は大変だと思いますので、PCをお使いになったほうが良いかと思います。









- (9) その他(忌憚のないご意見をご記入ください。) (回答19/24)
- 4) 預かり保育のホワイトボードに園児のお迎え時間を書き入れる→保護者はれんらく アプリにお迎え時間を入れているのでそれを拡大印刷すれば同じことだと思います。 こちらも手書きの時間よりぐんと短くなると思います。
- 5)無駄を省き、その分園児たちと触れ合う時間を作って、クラス、園全体を把握する方法が必要だと思います。学年主任も結局はクラスをお持ちなので、学年全体の把握は難しいのではと思います。そうなると幼稚園主任、副主任等しかいらっしゃらないと思います。もちろん園全体で園児を育てていく気持ちで私もおりますので、これからも常に見守りながら、事務的仕事を円滑に遂行します。
- 6) 朝食に対しての個別的な指摘は、ハラスメントにあたらないのか。









6) 「ハラスメントにあたらないのか」について

6) につきまして、講演会でもお話したとおり業務上必要性のある注意指導はハラスメントにはあたりません。

職場での注意が職場の秩序維持や適正な労務管理(朝食を取っている時間が就業時間内であれば朝食を取っている時間は職務遂行時間外となります。昼食やおやつは休憩時間です。)の為必要であれば、ハラスメントにはあたりません。

野川総合法律事務所 弁護士 野川晶巨



03/10/2021自己評価結果 古閑 博美





適材適所、少数精鋭、勇猛果敢、率先提言•実行 教育の対象(園児=教育受益者)

- コロナ禍での対応→3密、換気、消毒、手洗い、うがい、マスク着用(職員必須) ほか
- 研究・研修への取り組みと現場での実践→現場での教育に定着 ほか
- 担当役割への認識(園長、教学、主任、担任、学級経営補助、営繕、事務等)と理解
- 気になる(要注意観察・保護)園児および保護者への対応と情報共有化
- 日々の園児・保護者対応(含面談)+教育支援委員→本園一致の体制
- 園外発信情報 まず園内で共有→保護者 ほか
- 新規企画の取り組みと運営→満3歳児学年増設、「しるでき+(プラス)」 ほか
- 働きやすい職場環境→同僚(正規・非正規・派遣)、地域、保護者、園児
- On-line対応→保護者会、保護者面談、動画配信 ほか
- HPの充実→園児募集、本園の取り組み紹介 ほか



03/10/2021自己評価結果 古閑 博美





令和2年(2020)年度 自己評価総括

ご協力ありがとうございました。

2020年度(厳重警戒下)末までよろしくお願いいたします。 2021年度(厳重注意下)もよろしくお願いいたします。

> 学校法人 練馬みどり学園 田柄幼稚園 園長 古閑 博美 h.koga@nmg.ed.jp



